



デジタルアーカイブフェス 2026
—デジタルアーカイブの時代の交差点—

三井文庫デジタルアーカイブ の取り組み

小杉 亮介

公益財団法人三井文庫 社会経済史研究室

「三井文庫デジタルアーカイブ」とは

- 三井文庫デジタルアーカイブ
(Mitsui Bunko **Business** Archives)
- 公益財団法人三井文庫が所蔵する、三井家・三井グループに関連する近世資料および近代会社資料のデジタル画像について、広くオンラインにて公開するプラットフォーム。
- 特に経済史・経営史研究に資する資料群を中心に公開しており、この意図から、英語名には“Business”の文言を入れている。

「三井文庫デジタルアーカイブ」とは

- 2023年度、「三井グループ350周年記念事業」がスタート。
- ……1673（延宝元）年に三井高利が江戸に呉服店を開業してから350年の節目。
- 「2027年度までの5年間、グループの存在意義を再確認しながら、社会課題の解決に取り組む姿勢を体現するため記念事業を実施」
- コンセプトは、「みついのちからを、みらいのひとに。」
- 「三井グループ350周年記念事業ホームページ」も公開。

画像

（※公開用資料のため該当画像削除）

「三井文庫デジタルアーカイブ」とは

- 三井文庫による記念事業が「三井文庫デジタルアーカイブ」
- 2023年度 所蔵資料のデジタル画像化開始
- 2026年5月 資料約15,000点分のデジタル画像完成
→ 2026年5月18日 三井文庫デジタルアーカイブ公開
- 目標 : 資料約20,000点分の画像公開（2027年度までに）
- **日本事務器株式会社**のクラウド型デジタルアーカイブシステム「INFOLIB」をプラットフォームとして採用。

「三井文庫デジタルアーカイブ」とは

- 登録・利用は無料！

→手続きは「[三井文庫デジタルアーカイブ登録申込フォーム](#)」から。

- その他詳細と登録フォームへのリンクは[三井文庫HP](#)にて案内中。

- 目録検索用データベースもあわせて公開（登録不要・利用無料）

三井文庫所蔵史料目録 Mitsui Bunko Business Archives

登録者数の伸び

新規登録者数の推移（2026年5月18日～7月31日）

月	5	6	7	合計
日本	141	153	105	399
海外	2	11	4	17
合計	143	164	109	416

- ※2025年度の閲覧者延数（来館利用者数）： 182名
→ デジアカ登録者数は毎月100人単位の水準で推移、増加。
- これまで来館が難しかった方へ、三井文庫利用の機会を提供。

登録者による利用状況

月	5	6	7	合計
検索画面表示回数（簡易）	2,250	2,267	1,714	6,231
検索画面表示回数（詳細）	189	159	99	447
検索実行回数（簡易）	923	1,625	1,374	3,922
検索実行回数（詳細）	1,355	1,325	1,151	3,831
詳細表示回数	1,477	3,086	1,544	6,107
検索結果ダウンロード回数	4	23	6	33
訪問数	6,592	8,761	6,442	21,795
訪問者	857	643	475	1,975
コンテンツへのアクセス数	3,214	10,089	10,208	23,511

- 詳細検索よりも簡易検索で資料を探し、画像閲覧をする傾向。
- コンテンツへのアクセスは顕著に増加：アクティブユーザーの定着？

実際にみてみましょう！

三井文庫デジタルアーカイブ *Mitsui-bunko Business Archives*

- 資料検索の実際：簡易検索

資料群一覧からの検索

詳細検索

- 資料画像の閲覧：・大元方（1722）「享保七年寅正月ヨリ七月迄大元方勘定目録」【続02873-002】

・三井物産会社（1876）「日記」（明治9年）【物産00001】

「伯刺西爾珈琲宣伝並ニ販売ニ関シ 株式会社三越ト契約締結ノ件」

- 1932（昭和7）年2月20日、旧三井物産株式会社における議案。
- 次の資料に収録。

三井物産文書課（1932）「回議綴」

【資料番号：物産02390】（コマ 221-223）

※旧物産の、取締役会よりも重要度の低い案件の議案等を収録した資料。

画像掲載画面

(※公開用資料のため該当画像削除)

画像掲載画面

(※公開用資料のため該当画像削除)

議案によれば……

- 旧物産と三越の間で、1935年12月31日まで
 - ・ 三越各店に「珈琲『バー』」を開設。
 - ブラジルコーヒーの宣伝と販売。
 - ・ 旧物産から三越へ
 - 設備と維持費用、宣伝・販売費用、コーヒー豆現物を提供。
 - ・ 三越は旧物産からブラジルコーヒーを買付。

三越側の史料でも……

- 岩井生「ブラジル珈琲 サントス珈琲の風味」

株式会社三越（1932年3月）『三越』22(3), p.23.

国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1524691/1/13> (2026年7月14日閲覧).

- ブラジルコーヒーの歴史、味や品質を紹介。記事の末尾にて、
「近々三越食料品売場にて缶入及計り売として最低価格で発売致します。又食堂にては特別のサービスで御用を承ります」

と案内。

なにがあったのか？

- 旧物産の「伯刺西爾珈琲宣伝並ニ販売……」議案によれば、
「『サンパウロ』珈琲局トノ間ニ存在スル珈琲宣伝販売契約」
が関わっている。
→三越との取引も上記の契約が「消滅」すれば終了。
- 旧物産から三越への設備やコーヒー豆の提供、費用負担も、
「（此支出ハ結局珈琲局負担トナルモノナリ）」
とある。

画像掲載画面

(※公開用資料のため該当画像削除)

画像掲載画面

(※公開用資料のため該当画像削除)

サンパウロ州政府とのコーヒー豆の宣伝販売契約

- 「伯刺西爾サンポーロ州政府買上珈琲豆ノ日本支那一手販売契約」

→1931年6月9日、19日、7月4日に、当該契約に関する議案あり。

（三井物産文書課『回議綴』1931年【物産02388】のコマ 194-197, 232-233, 321-322）

- 検討段階ですでに、三越を拠点に宣伝販売する方針が出ていた。

「三越十店及其他ノ五十店ニ設備ヲ施シ……」（【物産02388】コマ 195）

※契約書原本も文庫に所蔵：「ブラジル・サンパウロ珈琲局契約書」1931年【物産02358-041】

画像掲載画面

(※公開用資料のため該当画像削除)

旧物産で1932年中に発議されたブラジルコーヒー宣伝販売に関する議案

19

月	日	内容	資料番号	DAコマ番号
2	20	三越本店・支店に「珈琲バー」設置。	物産02390	221-223
2		松岡産業（株）所有家屋とコーヒー関係設備を買収。同社の「缶入珈琲」含め宣伝販売。	物産02390	232-234
2	23	京浜地方の各会社を特約店に。：松岡産業（株）、（株）カフェー・パウリスタ 合資会社杉野屋商店、山口八十八商店	物産02390	243-245
3	3	森永製菓（株）と契約。同社各支店を特約店に。	物産02390	289-291
4	13	田口善一（有楽町・白十字堂）を特約店に。	物産02390	473-474
5	5	国分商店（東京）に「オリムピック印缶入ブラジル珈琲」を専売させる契約締結。	物産02390	554-555
5	11	物産小樽支店、小樽市、ブラジル商会・是澤亀松との間でブラジルコーヒーの宣伝販売契約。 小樽市内の加藤秋太郎が経営する店舗内に「珈琲バー」を開設。	物産02390	586-587
5		株式会社二幸と宣伝販売契約。同社の新宿と渋谷の店舗に「バー」を設置。	物産02390	667-669
6	4	株式会社神戸パウリスタと宣伝販売契約。	物産02391	18-19
7	14	森永製菓（株）との宣伝販売契約で店舗を追加・拡大。	物産02391	221-222
7	16	藪悌二が銀座で経営する店舗にバーを設置し、同氏と宣伝販売契約。ネオンサインも設置。	物産02391	231-232
8	11	小冊子「ブラジル事情ト珈琲」の発行。	物産02391	354-355
9	20	カルピス製造（株）の「ブラジル珈琲エッセンス」（液体状のインスタントコーヒー）を物産 が特約店を設置して一手販売し、その原料をカルピス（株）に供給する契約。	物産02391	460-461
10	19	松岡産業（株）との契約を解除し、新たに東京食品株式会社と宣伝販売契約。	物産02391	565-567
12	20	ブラジル産コーヒー粉末とコーヒーエッセンスへの旧物産の商標「井桁三」を利用する申請。	物産02391	900-903

どうしてコーヒーを？

- コーヒー：明治期には一部の階級の嗜好品。
- ブラジル政府が1911年から計4回、日本でコーヒーを普及宣伝。

……大正期の第一次宣伝活動にはカフェー・パウリスタが協力。

- 昭和初期には、日本でのコーヒー輸入と消費が急速に拡大。

喫茶店の普及と定着

- 関東大震災（1923年）後、都市を中心に「カフェー」が多数展開。
- But! 女給による「過度な接客サービス」が風紀問題化。
- これに対し、「健全さ」を前面に出した喫茶店が展開。
- → 「純喫茶」の誕生。：同じくして「名曲喫茶」なども続々展開。
……ブラジレイロ、きゅうぺる、ダット、ブラック・バード etc.
- 1930年代初め、コーヒー、喫茶店が大衆に開かれて普及、定着。



ブラジレイロ
京都市河原町西端下
天井 20W×10
高さ 2.45m
柱 各 12W×14
長さ 12.12m
庇 60W×22
屋上開採照明 庇欄間の一部を
を除去するもの



出典) 国立国会図書館 (2026)

「喫茶店の広まり～純喫茶の登場～」

「本の万華鏡 第39回 コーヒーブレイク～caféで語ろう集まろう～」

国立国会図書館電子展示会 <https://www.ndl.go.jp/kaleido/39/3>

(2026年8月6日閲覧).



ブラジルとジャワ（インドネシア）の市場競争

- ジャワ政府も1923年頃から日本のコーヒー市場に参入。
- 昭和初期からブラジルとジャワとで激しい販売競争に突入。
- 1932年、銀座に「**ブラジルコーヒー販売宣伝本部**」設置。
 - ブラジルの貿易商・A. A. アッスムソンが代表となり普及・宣伝に尽力。
- 旧物産はこのときにブラジル側の働きかけで宣伝販売契約を締結。
 - 「販売宣伝本部」設置後は同機関と連携。

旧物産のブラジルコーヒーの事例が持つ意義

- 旧三井物産株式会社：戦前日本の巨大商社
→ その取引活動は一見すると、市民生活からは遠い世界。
- 背景を辿ると、その当時の社会・生活の変化に結びついていた。
→ 三越の資料と日本のコーヒーの歴史とをつなげて明らかに。
- ※三越：三井グループの中では市民生活に密着した企業
→ 異なる性格の企業の資料も横断的にみることの意義

ここまでの調査は……

- ほぼ、各所のデジタルアーカイブ上の資料だけで明らかにした。

- ・ 三井文庫デジタルアーカイブ

- ・ 国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/>

(※各資料の出典は末尾の参考文献リストをご参照のこと)

デジタルアーカイブの普及がもたらす可能性

- デジタルアーカイブを横断的に駆使することで……

- ●
 - ・ 調査研究の「最初の一步」が軽くなる。

……先行研究の検索、基礎的な史資料の探索、通史的な概要の把握 etc.

- ・ 様々な領域の情報をつなげて考える機会を得る。

……旧三井物産（商社）と三越（小売）と食品の歴史（コーヒー）

- ・ 様々な人が様々な知識に、どこからでもアプローチできる。

……空間的な制約の打開、より開かれた知の実現

参考文献

(※【 】内は「三井文庫デジタルアーカイブ」における資料番号)

- (作成者不明) (1931) 「ブラジル・サンパウロ珈琲局契約書」 【物産02358-041】
- 岩井生 (1932) 「ブラジル珈琲 サン투스珈琲の風味」 『三越』 22(3), 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1524691> (2026年7月30日閲覧).
- カルピス食品工業株式会社社史編纂委員会編 (1989) 『70年のあゆみ』 カルピス食品工業株式会社, p.91, 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/13090742> (2026年7月29日閲覧).
- 河井皎編 (1932) 『ブラジル事情と珈琲』 三井物産営業部食料品取扱主店, 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1213992> (2026年7月30日閲覧).
- 国立国会図書館 (2026) 「喫茶店の広まり～純喫茶の登場～」 「本の万華鏡 第39回 コーヒーブレイク～caféで語ろう集まろう～」 国立国会図書館電子展示会 <https://www.ndl.go.jp/kaleido/39/3> (2026年8月6日閲覧).
- 全日本コーヒー商工組合連合会日本コーヒー史編集委員会編 (1980) 『日本コーヒー史』 上巻, 全日本コーヒー商工組合連合会, 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/11994627> (2026年7月30日閲覧).
- 全日本コーヒー商工組合連合会日本コーヒー史編集委員会編 (1980) 『日本コーヒー史』 下巻, 全日本コーヒー商工組合連合会, 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/11994626> (2026年7月30日閲覧).

- 三井物産文書課（1931）「回議綴」【物産02388】：以下、参照個所（デジタルアーカイブのコマ番号）
- 6月9日「伯刺西爾サンポーロ州政府買上珈琲荳ノ日本支那一手販売権獲得ニ関連シ宣伝費融通ノ件」
（194-197）
- 6月19日「伯刺西爾サンポーロ州政府買上珈琲荳ノ日本支那一手販売契約条件変更ノ件」（232-233）
- 7月4日「伯刺西爾サンポーロ州政府買上珈琲荳ノ日本支那一手販売契約条件更ニ変更ノ件」（321-322）
- 三井物産文書課（1932）「回議綴」【物産02390】：以下、参照個所（デジタルアーカイブのコマ番号）
- 2月20日「伯刺西爾珈琲宣伝並ニ販売ニ関シ株式会社三越ト契約締結ノ件」（221-223）2月「伯刺西爾珈琲
宣伝並ニ販売ニ関シ当社名義ヲ以テ珈琲焙煎所設置ノ為メ松岡産業株式会社ト契約締結ノ件」
（232-234）
- 2月23日「伯刺西爾珈琲下請販売契約締結ノ件」（243-245）
- 3月3日「伯刺西爾珈琲ノ宣伝並ニ販売ニ関シ森永製菓株式会社ト契約締結ノ件」（289-291）
- 4月13日「伯刺西爾珈琲宣伝契約ノ件」（473-474）（次項に続く）

(承前)

- 5月5日 「オリムピック印缶入ブラジル珈琲日本一手販売契約ノ件」 (554-555)
- 5月11日 「伯刺西爾珈琲、宣伝並販売契約ノ件」 (586-587)
- 5月 「伯刺西爾珈琲宣伝並販売ニ関シ株式会社ニ幸ト契約締結ノ件」 (667-669)
- 三井物産文書課 (1932) 「回議綴」 【物産02391】 : 以下、参照個所 (デジタルアーカイブのコマ番号)
- 6月4日 「伯刺西爾珈琲宣伝並販売ニ関シ株式会社神戸パウリストト契約締結ノ件」 (18-19)
- 7月14日 「伯刺西爾珈琲販売並宣伝追加契約ノ件」 (221-222)
- 7月16日 「伯刺西爾珈琲宣伝契約ノ件」 (231-232)
- 8月11日 「小冊子『ブラジル事情ト珈琲』 発行ニ就キ社名使用ノ事」 (354-355)
- 9月20日 「ブラジル珈琲エツセンス一手販売引受並原料供給契約ノ件」 (460-461)
- 10月19日 「ブラジル珈琲焙煎所設置ニ関スル松岡産業株式会社トノ契約ヲ解除シ東京食品株式会社ト契約締結ノ件」 (565-567)
- 12月20日 「ブラジル珈琲商標及ラベルニ「井桁三」印及社名使用ノ事」 (900-903)